

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2008-15517(P2008-15517A)

【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-169112(P2007-169112)

【国際特許分類】

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/00 E

G 02 F 1/1335

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投影器のための光学システムであって：

ソース照明ビームを生成するために適切な少なくとも1つの照明ソース；
前記ソース照明ビームを、第1方向に沿って直線偏光された第1照明ビーム及び前記第1方向に対して垂直方向に偏光された第2照明ビームに分割する少なくとも第1偏光ビームスプリッタ；

前記第1方向に沿って直線偏光された第1カラービームにより照明され、第1イメージングビームを生成する第1イメージャ；並びに

前記第1方向に対して垂直偏光された第2カラービームにより照明され、第2イメージングビームを生成する第2イメージャ；

を有する、光学システムであり、

当該光学システムは、各々の瞬間に異なる色を有する前記第1カラービーム及び第2カラービームのそれぞれを生成するように、各々の瞬間に異なる色の色セグメントに関連付けられた2つの異なる領域において、偏光された前記第1照明ビーム及び前記第2照明ビームと交差する少なくとも1つのカラー ホイールを更に有する；

ことを特徴とする光学システム。

【請求項2】

請求項1に記載の光学システムであって、第3イメージングビームを生成するように、前記第1イメージングビームを前記第2イメージングビームと結合するために適切な少なくとも第2偏光ビームスプリッタを有する、ことを特徴とする光学システム。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の光学システムであって、前記2つの異なる領域は、各々の瞬間に、補色の色セグメントに関連付けられる、ことを特徴とする光学システム。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の光学システムであって、前記2つの異なる領域の一が緑色の色セグメントに関連付けられる瞬間に、他の領域は赤色の色セグメントに関連付けられ、前記2つの異なる領域の一が黄色の色セグメントに関連付けられる瞬間に、他の領域は青色

の色セグメントに関連付けられる、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 イメージャ及び前記第 2 イメージャは L C O S 型である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 イメージャ及び前記第 2 イメージャは透過型 L C D である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 偏光ビームスプリッタはグレーティング偏光子型である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 6 の何れか一項に記載の光学システムであって、前記第 1 偏光ビームスプリッタはダイクロイック型である、ことを特徴とする光学システム。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 の何れか一項に記載の光学システム及び少なくとも 1 つの投影対物レンズを有する投影器。